

費用対効果評価の制度化に向けた議論の進め方

これまでの検討の経緯

- 平成29年2月8日の費用対効果評価専門部会において、医薬品、医療機器及び高額な医療機器を用いる医療技術について、平成30年度診療報酬改定時に、試行的導入の検討結果を踏まえ制度化の検討を進めることとし、平成29年夏を目途に費用対効果評価のあり方に関する中間的なとりまとめを行うこととされたところ。
- 費用対効果評価の制度化にかかる検討事項については、平成29年3月15日及び5月31日の同部会において「総合的評価(アプライザル)等のあり方」について検討を行ったところである。

平成29年 2月8日	費用対効果評価に係る今後の進め方
3月15日	総合的評価(アプライザル)等
5月31日	総合的評価(アプライザル)(2)
6月14日	5月31日の部会を踏まえた議論

費用対効果評価の制度化に向けた議論の進め方

今後の進め方

- 次回以降の部会では、中間とりまとめに向けて「対象品目、医療技術の選定のあり方」及び「費用対効果評価の反映方法」について検討することとしてはどうか。
- また、「総合的評価(アプレイザル)等のあり方」等についても、引き続き検討することとしてはどうか。

次回以降	<ul style="list-style-type: none">・ 対象品目、医療技術の選定のあり方・ 費用対効果評価の反映方法・ 関係団体等からの意見聴取等の中間とりまとめに向けた議論
夏目途	中間とりまとめ